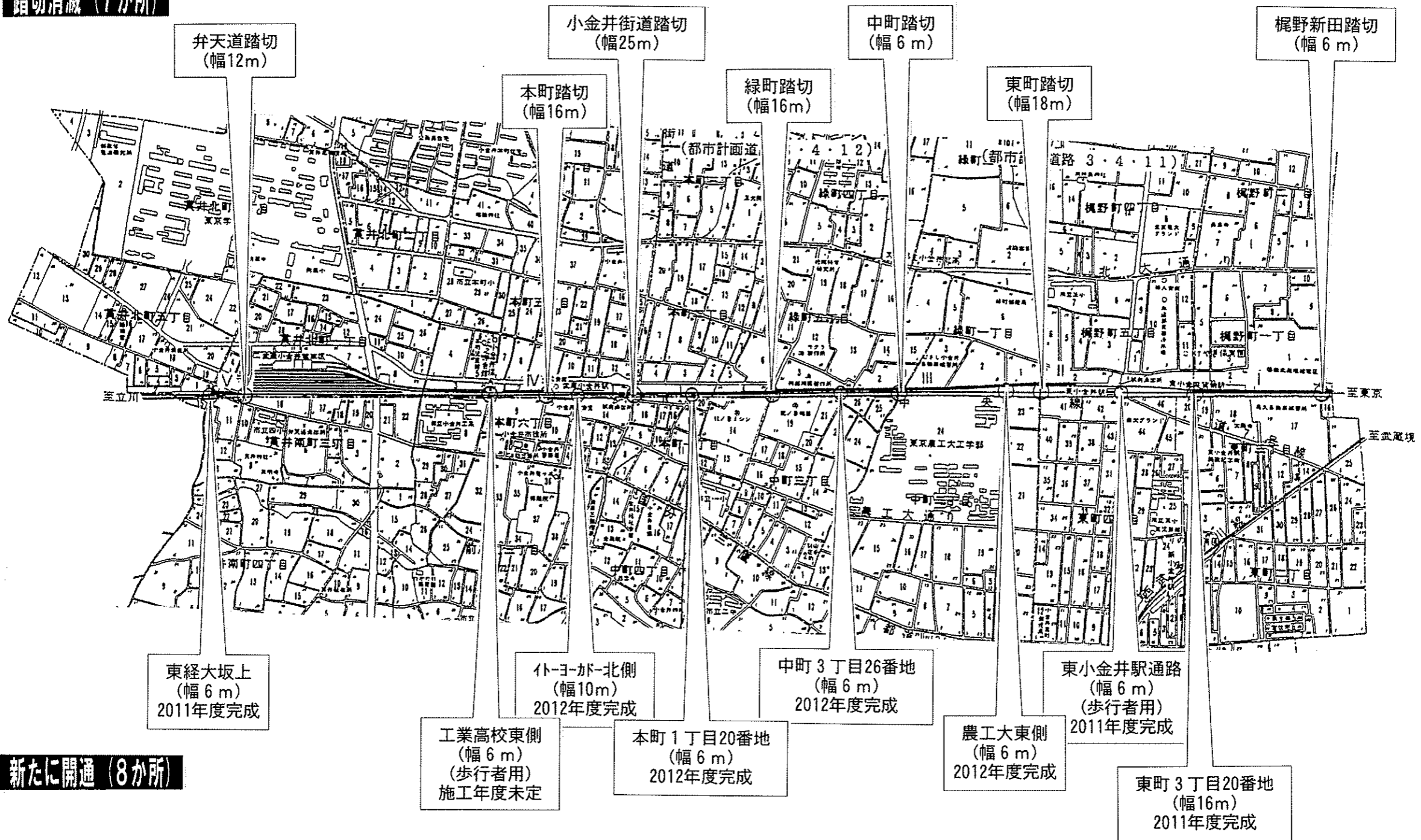


J R 中央線連続立体交差事業にともなう南北道路開通調べ

踏切消滅 (7か所)



新たに開通 (8か所)

【解説】 上記は、今年6月17日の市議会駅周辺整備調査特別委員会で、小金井市が説明した概要です。上段は、中央線が高架になる前から、北側から南側へ踏切を渡って通れた箇所。下段は、高架下に新たに設けられる南北道路です。図面には記されていませんが、この他にも本町1丁目の「陣屋道」と東小金井駅西側部分、東小金井駅東側付近に、歩行者用道路(幅4~6m)を設置する予定です。

小金井市は中央線高架化事業に負担金を支出していることから、小金井市域内の高架下部分の15%を使用することができます。面積は4,556㎡。そのうち3,800㎡を駐輪場に、256㎡を起業者用の事務所等に、残り500㎡を東小金井駅近くに設置予定の市役所出張所に充てる計画です。これらすべての設置を含めて、高架下の整備完了は2013年度末を予定。武蔵小金井駅南北の出入口については、南口が先に完成し、その後、北口の完成へと続きます。(2010年12月)